



政府統計

# 平成27年度 青少年のインターネット利用環境実態調査 調査結果（速報）

平成28年2月

内閣府

調査概要	2
ポイント 1 青少年のインターネット利用状況 - 1 (インターネット利用率)	3
ポイント 2 青少年のインターネット利用状況 - 2 (利用内容)	4
ポイント 3 青少年のインターネット利用状況 - 3 (利用時間)	5
ポイント 4 青少年のスマートフォンによる無線LAN回線の利用状況	6
ポイント 5 保護者のインターネット利用状況 - 1 (インターネット利用率)	7
ポイント 6 保護者のインターネット利用状況 - 2 (利用内容)	8
ポイント 7 保護者のインターネット利用状況 - 3 (利用時間)	9
ポイント 8 保護者のインターネットを安全・安心に使うための注意点の認知	10
ポイント 9 青少年のインターネット利用に関する保護者の取組	11
ポイント 10 保護者のインターネットに関する啓発や学習の経験	12
ポイント 11 家庭のルール	13
参考資料 1 青少年のスマートフォン・携帯電話の所有・利用状況	14
参考資料 2 フィルタリング等利用率 (スマートフォン・携帯電話)	15

## 1. 調査目的

平成21年度～平成26年度に引き続き、「青少年が安全に安心してインターネットを利用できる環境の整備等に関する法律」(いわゆる「青少年インターネット環境整備法」。平成21年4月1日施行。)の施行状況のフォローアップのための基礎データを得ることを目的として実施。

## 2. 調査設計

- (1) 方法: ①青少年調査 原則として、調査員による個別面接聴取法で調査を実施。  
ただし、調査協力を得られたものの訪問時間等が合わない場合には、WEB調査法を併用。  
②保護者調査 原則として、調査員による訪問配布訪問回収法で調査を実施。  
ただし、調査協力を得られたものの訪問時間等が合わない場合には、WEB調査法及び郵送回収法を併用。
- (2) 対象: ①青少年調査 満10歳から満17歳までの青少年(5,000人) ②保護者調査 上記青少年の同居の保護者(5,000人)
- (3) 調査内容: 青少年及び保護者に対して、下記機器によるインターネット利用状況等について調査。  
①青少年調査 スマートフォン、いわゆる格安スマートフォン、機能限定スマートフォンや子供向けスマートフォン、携帯電話の契約が切れたスマートフォン、携帯電話、機能限定携帯電話や子供向け携帯電話、ノートパソコン、デスクトップパソコン、タブレット、学習用タブレット、子供向け娯楽用タブレット、携帯音楽プレイヤー、携帯ゲーム機、据置型ゲーム機、インターネット接続テレビの15機器。  
②保護者調査 青少年調査の15機器から、機能限定スマートフォンや子供向けスマートフォン、機能限定携帯電話や子供向け携帯電話、学習用タブレット、子供向け娯楽用タブレットを除いた11機器。
- (4) 期間: 平成27年11月7日～12月6日
- (5) 回収結果: ①青少年調査 3,442人(68.8%)  
・調査員による個別面接聴取法 3,367人(67.3%)  
・WEB調査法 75人(1.5%)  
②保護者調査 3,641人(72.8%)  
・調査員による訪問配布訪問回収法 3,589人(71.8%)  
・WEB調査法 26人(0.5%)  
・郵送回収法 26人(0.5%)

## 3. 企画分析会議

委員長	藤原 静雄 (中央大学法科大学院 教授)
委員	生田 倫子 (神奈川県立保健福祉大学 准教授)
	国分 明男 ((一財)インターネット協会 副理事長)
	小豆川 裕子 ((株)株式会社 NTTデータ経営研究所 公共行政サービスコンサルティングユニット 上席研究員)
	西田 光昭 (千葉県柏市立柏第二小学校 校長)

## 4. 備考

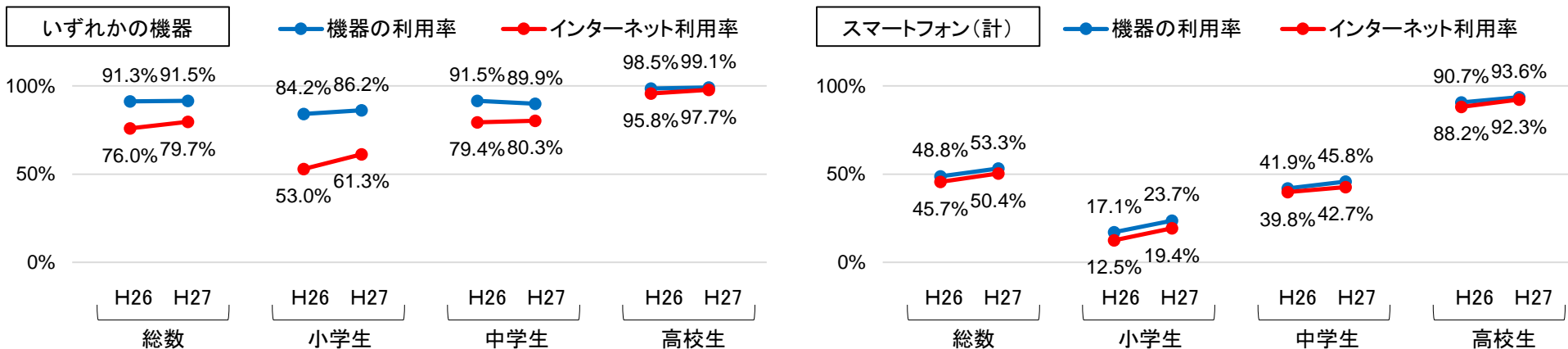
- ・「機能限定スマートフォンや子供向けスマートフォン」は、以下、「子供向けスマートフォン」という。
- ・「機能限定携帯電話や子供向け携帯電話」は、以下、「子供向け携帯電話」という。
- ・調査結果は、四捨五入しているため、内訳の合計値が計に一致しない場合がある。
- ・本調査では在学中ではない人も含むため、青少年調査では「小学生」、「中学生」、「高校生」の合計値が「総数」に一致しない。また、保護者調査では「小学生の保護者」、「中学生の保護者」、「高校生の保護者」の合計値が「総数」に一致しない。
- ・分析軸の該当者が50人未満のクロス集計については、標本誤差が大きくなるため、あくまで参考にとどめるなど、特に留意が必要。
- ・青少年調査の結果は、「調査員による個別面接聴取法」及び「WEB調査法」を合算し、保護者調査の結果は、「調査員による訪問配布訪問回収法」、「WEB調査法」及び「郵送回収法」を合算したものの。

- 青少年の79.7%が、いずれかの機器でインターネットを利用。
- インターネットを利用する機器は、スマートフォン(46.2%)、携帯ゲーム機(22.6%)、ノートパソコン(20.3%)、タブレット(17.5%)が上位。

## 各機器の青少年の利用状況(平成27年度)

	いずれかの機器	スマートフォン	いわゆる格安スマートフォン	子供向けスマートフォン	契約切れスマートフォン	携帯電話	子ども向け携帯電話	ノートパソコン
機器の利用率	91.5%	47.8%	1.2%	2.4%	3.4%	8.7%	8.7%	21.9%
インターネット利用率	<b>79.7%</b>	<b>46.2%</b>	1.1%	1.4%	2.5%	2.6%	1.3%	<b>20.3%</b>
	デスクトップパソコン	タブレット	学習用タブレット	子供向け娯楽用タブレット	携帯音楽プレイヤー	携帯ゲーム機	据置型ゲーム機	インターネット接続テレビ
機器の利用率	10.6%	19.0%	4.3%	0.2%	21.5%	43.0%	23.4%	3.6%
インターネット利用率	9.6%	<b>17.5%</b>	2.7%	0.1%	8.7%	<b>22.6%</b>	9.9%	2.0%

## 利用状況の前年度との比較(平成26年度・平成27年度)



(注1) 回答した青少年全員をベースに集計。回答数は以下のとおり。

平成27年度: 総数(n=3442) 小学生(n=1060) 中学生(n=1349) 高校生(n=1018) 平成26年度: 総数(n=3441) 小学生(n=1080) 中学生(n=1329) 高校生(n=1007)

(注2) 「いずれかの機器」とは、青少年に対して調査した15機器。

(注3) 「スマートフォン(計)」は、「スマートフォン」、「いわゆる格安スマートフォン」、「子供向けスマートフォン」、「携帯電話の契約が切れたスマートフォン」のいずれかを利用すると回答した青少年。

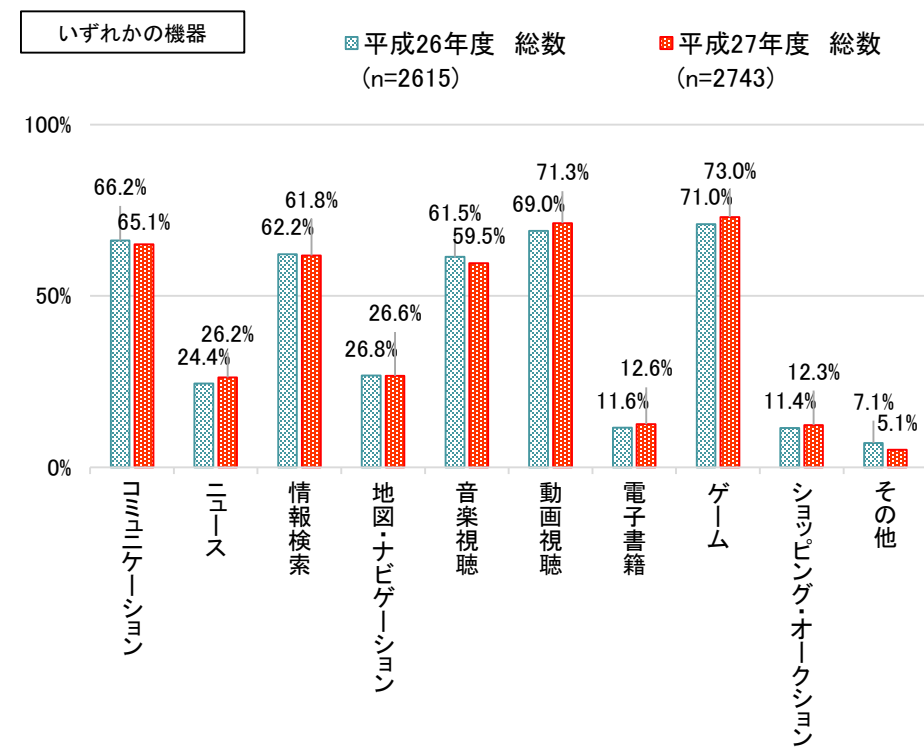
(青少年調査Q1・2)

○ 青少年のインターネットの利用内容は、高校生では、コミュニケーション(89.9%)、音楽視聴(81.7%)、動画視聴(81.5%)が上位。中学生では、ゲーム(71.1%)、動画視聴(70.5%)、コミュニケーション(62.9%)が上位。小学生では、ゲーム(75.1%)、動画視聴(56.8%)が上位。

青少年のインターネットの利用内容(平成27年度)

利用状況の前年度との比較(平成26年度・平成27年度)

		コミュニケーション	ニュース	情報検索	地図・ナビゲーション	音楽視聴	動画視聴	電子書籍	ゲーム	ショッピング・オークション	その他
いずれかの機器	総数 (n=2743)	65.1%	26.2%	61.8%	26.6%	59.5%	71.3%	12.6%	73.0%	12.3%	5.1%
	小 (n=650)	30.6%	7.4%	<b>42.5%</b>	5.2%	24.2%	<b>56.8%</b>	5.5%	<b>75.1%</b>	3.7%	7.4%
	中 (n=1083)	<b>62.9%</b>	23.8%	60.3%	19.7%	60.2%	<b>70.5%</b>	10.9%	<b>71.1%</b>	7.7%	4.2%
	高 (n=995)	<b>89.9%</b>	40.9%	76.2%	47.8%	<b>81.7%</b>	<b>81.5%</b>	19.3%	73.9%	22.9%	4.8%
スマートフォン	総数 (n=1589)	83.4%	33.1%	65.2%	38.3%	69.9%	74.1%	15.5%	72.3%	14.8%	1.6%
	小 (n=155)	<b>43.9%</b>	9.7%	42.6%	6.5%	31.0%	<b>53.5%</b>	5.2%	<b>72.9%</b>	3.2%	1.3%
	中 (n=507)	<b>80.3%</b>	28.2%	58.8%	29.0%	63.5%	<b>71.2%</b>	13.0%	<b>73.2%</b>	6.7%	1.4%
	高 (n=914)	<b>92.0%</b>	39.6%	72.6%	48.5%	<b>80.0%</b>	<b>79.1%</b>	18.8%	71.8%	21.1%	1.8%

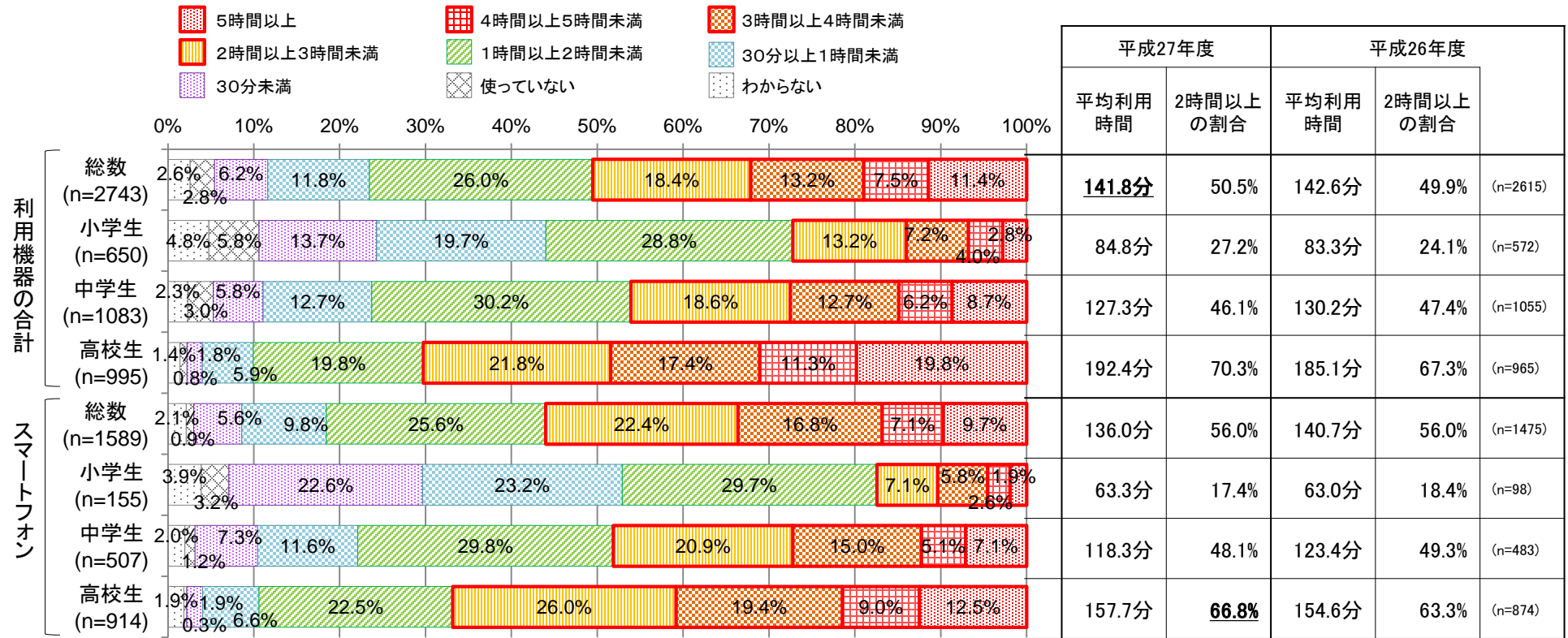


(注) 「いずれかの機器」については、青少年に対して調査した15機器のうち、いずれかの機器でインターネットを利用していると回答した青少年、「スマートフォン」については、「スマートフォン」でインターネットを利用していると回答した青少年をベースに集計。

# ポイント3 青少年のインターネットの利用状況 - 3 (利用時間)

○ 青少年のインターネット利用時間は、前年度と比べ横ばい。平均利用時間は約142分。  
 ○ 学校種が上がるとともに長時間傾向。高校生では、**66.8%**がスマートフォンを通じて2時間以上インターネットを利用。

青少年のインターネットの利用時間(平日1日あたり)



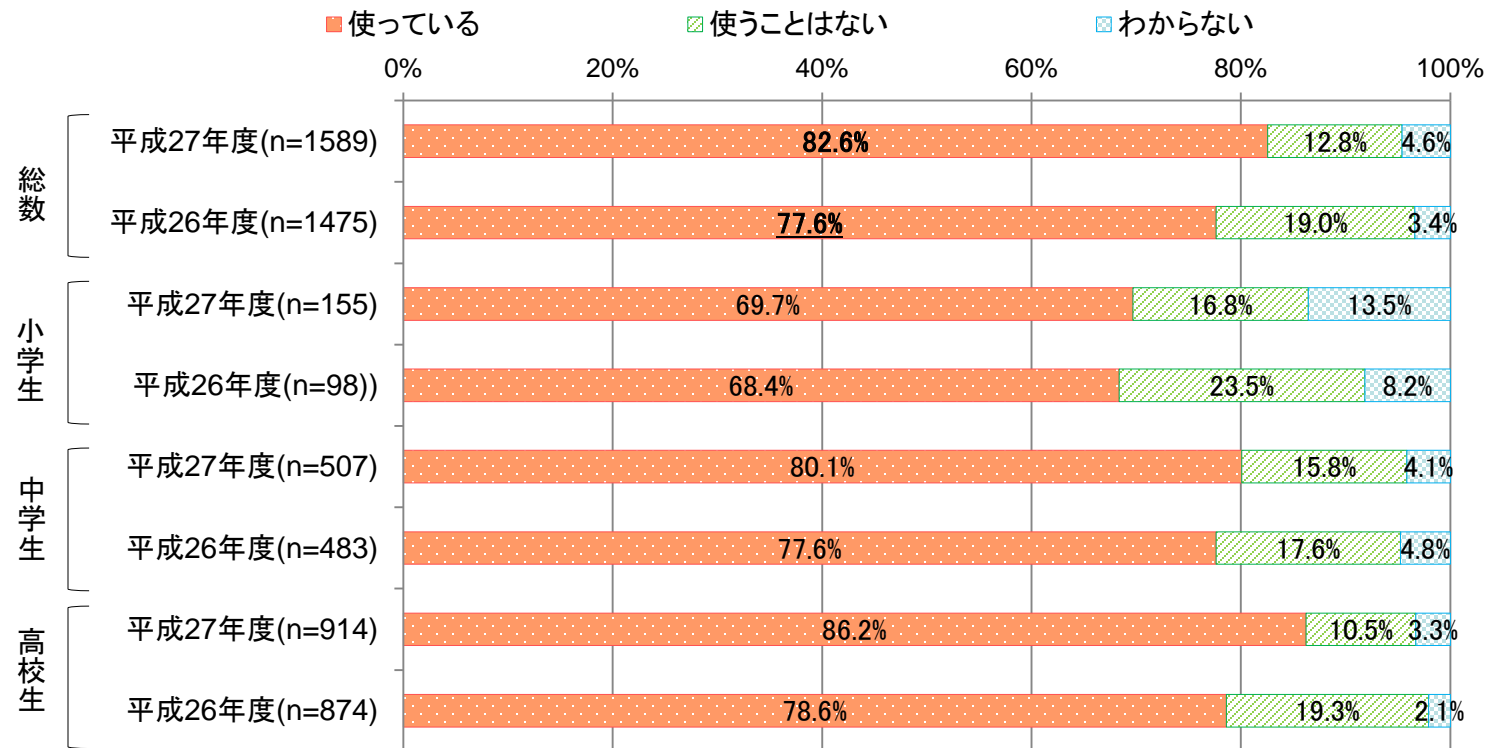
(注1) 「利用機器の合計」については、青少年に対して調査した15機器のうち、いずれかの機器でインターネットを利用していると回答した青少年、「スマートフォン」については、「スマートフォン」でインターネットを利用していると回答した青少年をベースに集計。

(注2) 平均利用時間は、「使っていない」は0分とし、「わからない」を除いて平均値を算出。

(注3) 「利用機器の合計」の利用時間は、回答者が利用している各機器における利用時間を合算したものの。

○青少年のスマートフォンによる無線LAN回線の利用率は、前年度に比べ増加。

青少年のスマートフォンによる無線LAN回線の利用率の前年度との比較(平成26年度・平成27年度)



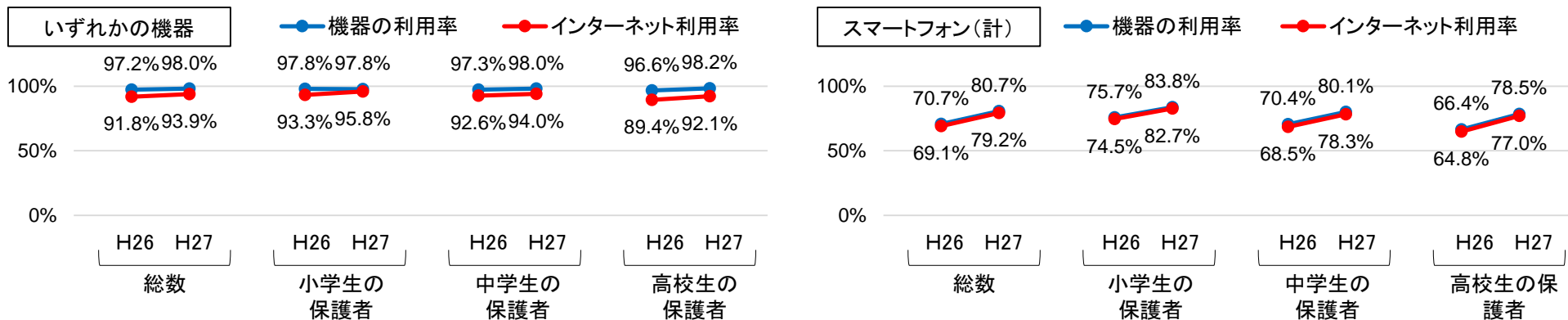
(注) 「スマートフォン」でインターネットを利用していると回答した青少年をベースに集計。

- 保護者の**93.9%**が、いずれかの機器でインターネットを利用。
- インターネットを利用する機器は、**スマートフォン**(77.4%)、**ノートパソコン**(46.5%)、**タブレット**(22.1%) が上位。
- スマートフォンの普及が進む。

## 各機器の保護者の利用状況(平成27年度)

	いずれかの機器	スマートフォン	いわゆる格安スマートフォン	契約切れスマートフォン	携帯電話	ノートパソコン	デスクトップパソコン	タブレット
機器の利用率	98.0%	78.8%	2.1%	4.8%	21.9%	50.6%	23.1%	23.4%
インターネット利用率	<b>93.9%</b>	<b>77.4%</b>	1.9%	3.3%	10.1%	<b>46.5%</b>	<b>21.3%</b>	<b>22.1%</b>
	携帯音楽プレイヤー	携帯ゲーム機	据置型ゲーム機	インターネット接続テレビ				
機器の利用率	8.7%	10.7%	11.0%	11.5%				
インターネット利用率	2.6%	5.4%	5.3%	5.4%				

## 利用状況の前年度との比較(平成26年度・平成27年度)



(注1) 回答した保護者全員をベースに集計。回答数は以下のとおり。

平成27年度: 総数(n=3641) 小学生の保護者(n=1077) 中学生の保護者(n=1412) 高校生の保護者(n=1128)

平成26年度: 総数(n=3637) 小学生の保護者(n=1092) 中学生の保護者(n=1387) 高校生の保護者(n=1132)

(注2) 「いずれかの機器」とは、保護者に対して調査した11機器。

(注3) 「スマートフォン(計)」は、「スマートフォン」、「いわゆる格安スマートフォン」、「携帯電話の契約が切れたスマートフォン」のいずれかを利用すると回答した保護者。

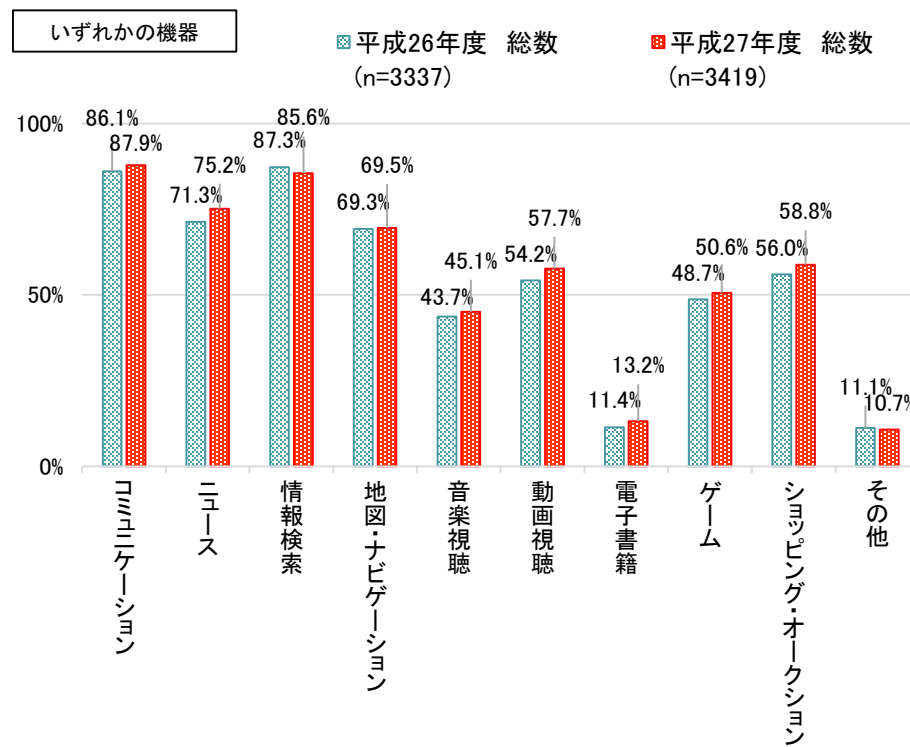


- 保護者のインターネットの利用内容は、コミュニケーション(87.9%)、情報検索(85.6%)が上位。
- ゲーム、動画視聴の利用は、学校種が下の保護者ほど多い。

保護者のインターネットの利用内容(平成27年度)

利用状況の前年度との比較(平成26年・平成27年度)

		コミュニケーション	ニュース	情報検索	地図・ナビゲーション	音楽視聴	動画視聴	電子書籍	ゲーム	ショッピング・オークション	その他
いずれかの機器	総数 (n=3419)	87.9%	75.2%	85.6%	69.5%	45.1%	57.7%	13.2%	50.6%	58.8%	10.7%
	小・保 (n=1032)	89.0%	76.7%	86.4%	67.3%	46.0%	63.9%	14.0%	58.2%	63.3%	9.6%
	中・保 (n=1327)	87.9%	74.5%	85.5%	71.0%	46.0%	56.3%	13.4%	50.3%	58.0%	11.3%
	高・保 (n=1039)	87.0%	74.7%	85.3%	69.9%	43.1%	53.5%	12.2%	42.9%	55.9%	11.2%
スマートフォン	総数 (n=2819)	91.3%	74.4%	83.1%	69.2%	40.9%	49.0%	12.1%	52.1%	45.9%	3.9%
	小・保 (n=871)	91.7%	76.2%	85.0%	67.2%	41.7%	54.0%	12.1%	59.6%	50.3%	3.8%
	中・保 (n=1083)	91.5%	73.9%	82.1%	69.6%	41.7%	47.6%	12.6%	52.3%	46.0%	4.2%
	高・保 (n=848)	90.9%	73.1%	82.7%	70.6%	38.9%	45.5%	11.8%	44.2%	41.9%	3.8%

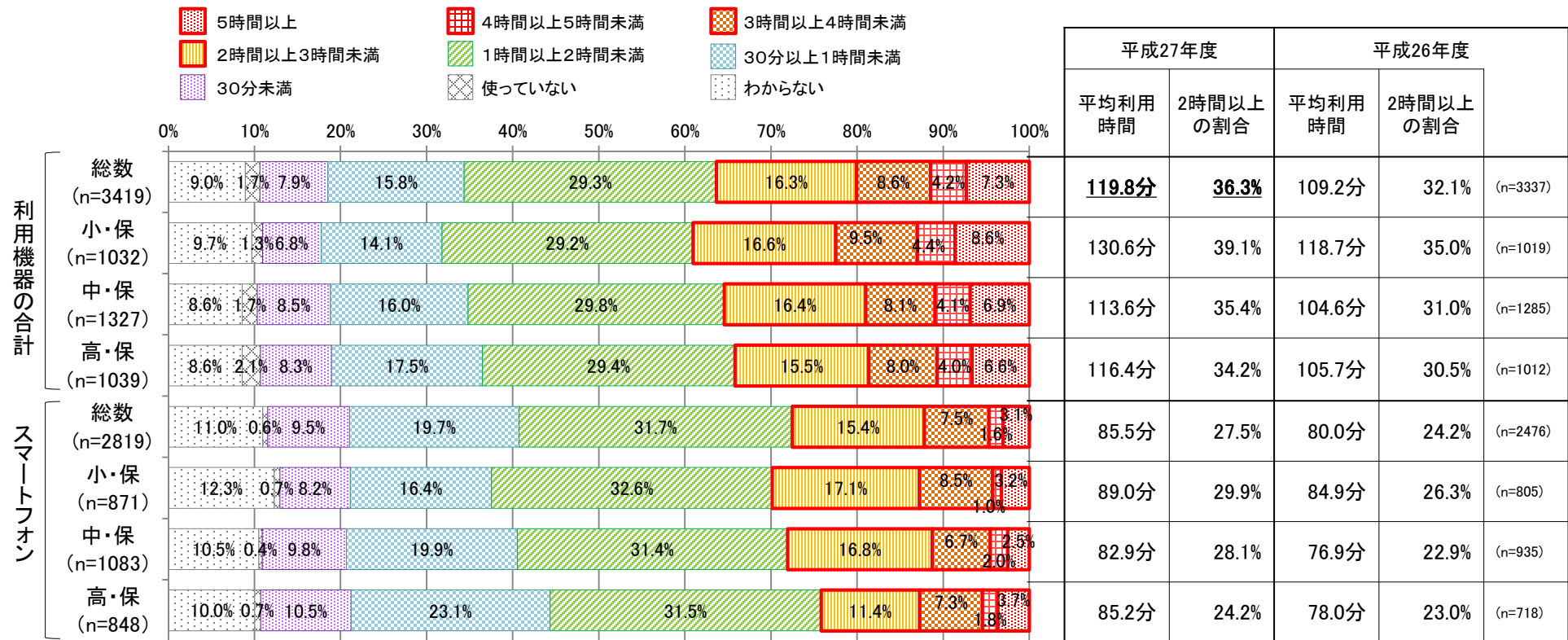


(注) 「いずれかの機器」については、保護者に対して調査した11機器のうち、いずれかの機器でインターネットを利用していると回答した保護者、「スマートフォン」については、「スマートフォン」でインターネットを利用していると回答した保護者をベースに集計。

# ポイント7 保護者のインターネットの利用状況 - 3 (利用時間)

- 保護者のインターネット利用時間が増加。
- **36.3%**が2時間以上インターネットを利用。平均利用時間は**約120分**。

保護者のインターネットの利用時間(平日1日あたり)



(注1) 「利用機器の合計」については、保護者に対して調査した11機器のうち、いずれかの機器でインターネットを利用していると回答した保護者、「スマートフォン」については、「スマートフォン」でインターネットを利用していると回答した保護者をベースに集計。

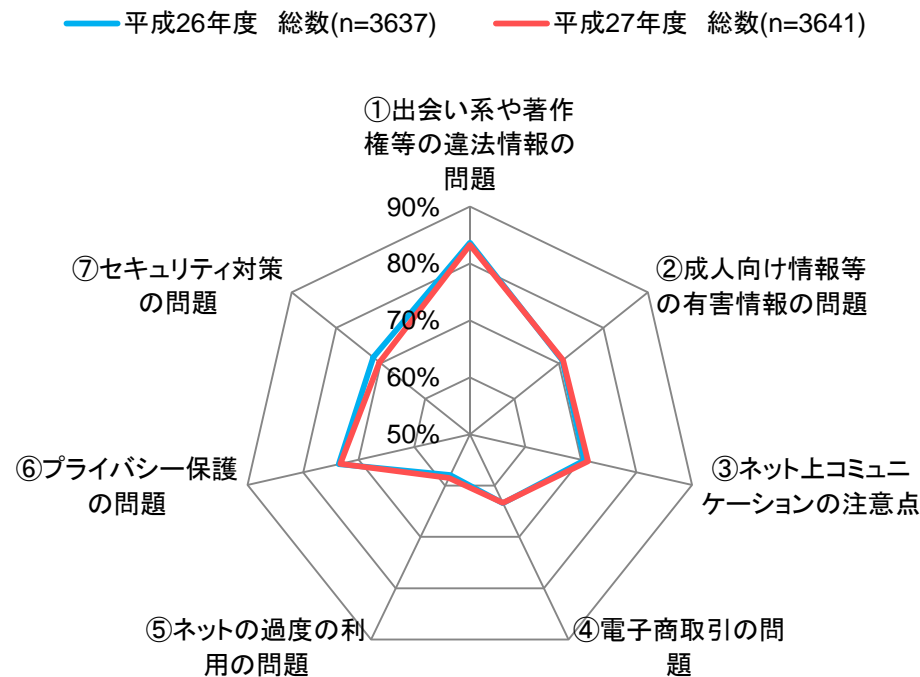
(注2) 平均利用時間は、「使っていない」は0分とし、「わからない」を除いて平均値を算出。

(注3) 「利用機器の合計」の利用時間は、回答者が利用している各機器における利用時間を合算したもの。

○ 保護者のインターネットを安全・安心に使うための注意点の認知は、「出会い系や著作権等の違法情報の問題」(83.2%)については高く、「ネットの過度の利用の問題」(58.5%)、「電子商取引の問題」(63.4%)は相対的に低い傾向。前年度と傾向は変わらない。

## 注意点の認知の前年度との比較(平成26年度・平成27年度)

	平成27年度				平成26年度			
	総数	小・保	中・保	高・保	総数	小・保	中・保	高・保
出会い系サイトや著作権等の違法情報の問題を知っている	<b>83.2%</b>	82.7%	84.9%	81.7%	83.6%	83.8%	84.2%	82.7%
公序良俗に反するような情報や成人向け情報等の有害情報に関する問題を知っている	70.9%	68.8%	72.9%	70.5%	70.8%	71.5%	70.9%	69.9%
インターネット上のコミュニケーションで注意すべき点を知っている	71.3%	72.3%	72.6%	68.8%	70.6%	71.8%	71.4%	68.6%
クレジットカードの管理等の電子商取引に関する問題を知っている	<b>63.4%</b>	63.5%	64.2%	62.4%	63.4%	63.8%	65.3%	61.0%
インターネットの過度の利用に関する問題を知っている	<b>58.5%</b>	58.7%	58.4%	58.5%	58.0%	58.2%	58.3%	57.2%
個人情報やパスワード等のプライバシー保護に関する問題を知っている	73.3%	74.7%	73.5%	71.7%	73.6%	73.9%	74.5%	72.4%
ウイルス対策や不正アクセス対策等のセキュリティ対策に関する問題を知っている	70.3%	70.7%	70.4%	69.7%	71.7%	72.3%	71.7%	71.1%
いずれも知らない・無回答	7.1%	6.8%	7.0%	7.4%	6.6%	6.3%	6.0%	7.7%

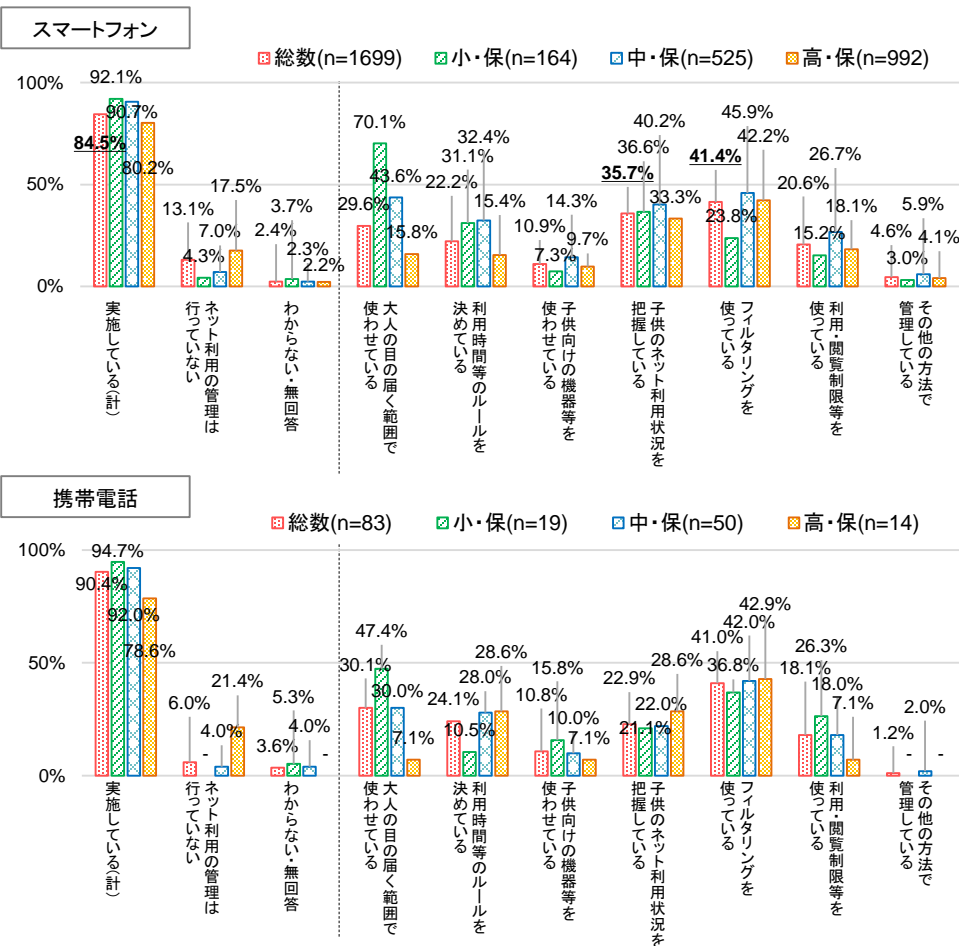


(注) 回答した保護者全員をベースに集計。回答数は以下のとおり。  
 平成27年度：総数(n=3641) 小学生の保護者(n=1077) 中学生の保護者(n=1412) 高校生の保護者(n=1128)  
 平成26年度：総数(n=3637) 小学生の保護者(n=1092) 中学生の保護者(n=1387) 高校生の保護者(n=1132)

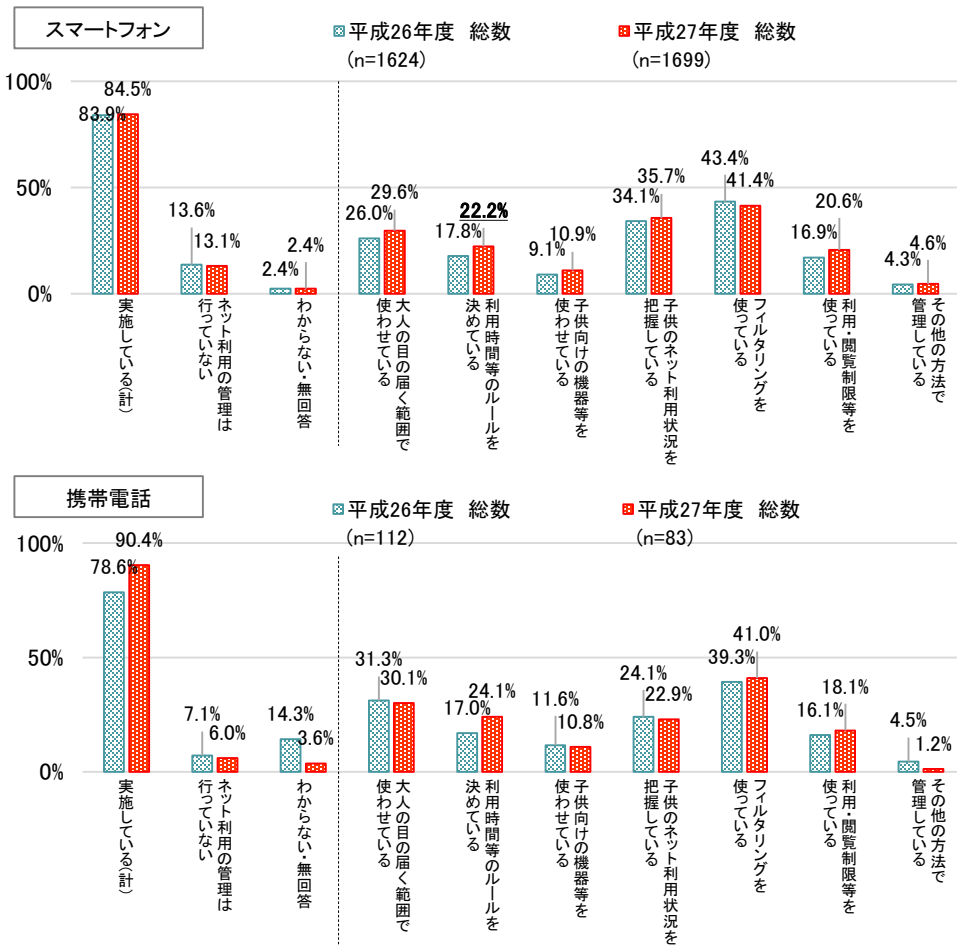
# ポイント9 青少年のインターネット利用に関する保護者の取組

- 青少年がスマートフォンを利用する保護者のうち、**84.5%**がいずれかの方法で青少年のインターネット利用に関する取組を実施。
- 実施している取組は、前年度と同様に、「**フィルタリングを使っている**」(41.4%)、「**子供のネット利用状況を把握している**」(35.7%)が上位。
- 「**利用時間等のルールを決めている**」が、前年度から4.4ポイント増え、22.2%。

スマートフォン・携帯電話における保護者の取組(平成27年度)



保護者の取組の前年度との比較(平成26年度・平成27年度)



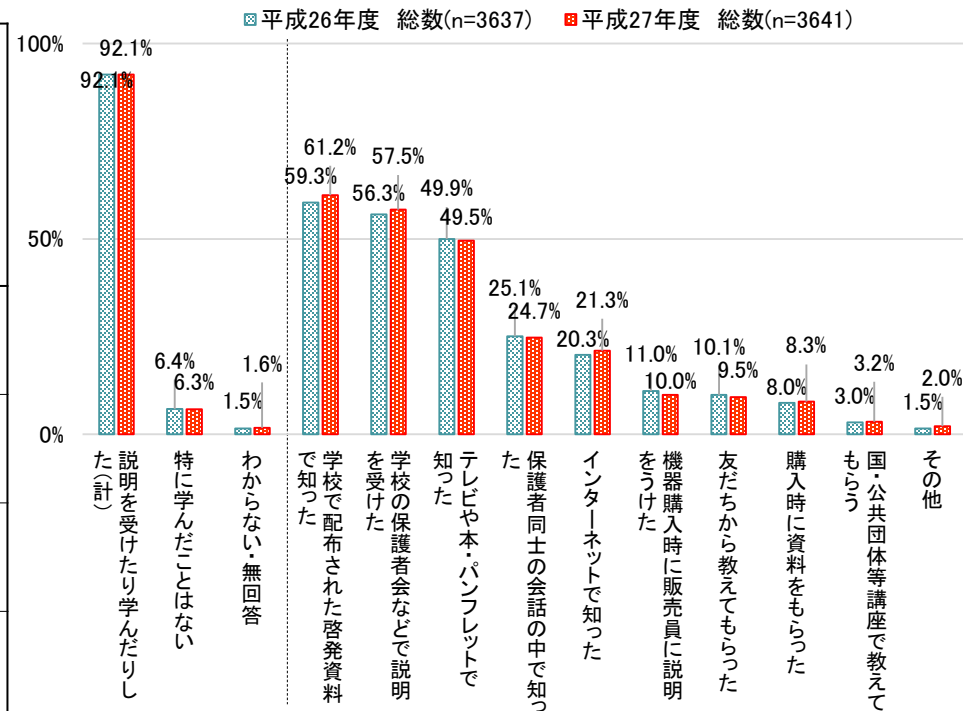
(注)「スマートフォン」については、青少年が「スマートフォン」を利用してインターネットを利用していると回答、「携帯電話」については、青少年が「携帯電話」を利用してインターネットを利用していると回答した保護者をベースに集計。

○ インターネットに関する啓発や学習の経験は、中学生及び高校生の保護者では、「学校で配布された啓発資料で知った」(中・保65.9%、高・保63.7%)、「学校の保護者会などで説明を受けた」(中・保63.3%、高・保63.5%)が上位。小学生の保護者では、「テレビや本・パンフレットで知った」(54.9%)が上位。

保護者のインターネットに関する啓発や学習の経験

	説明を受けたり学んだ(計)	特に学んだことはない	わからない・無回答	学校で配布された啓発資料で知った	学校の保護者会などで説明を受けた	テレビや本・パンフレットで知った	保護者同士の会話の中で知った	インターネットで知った	機器購入時に販売員に説明を受けた	友だちから教えてもらった	購入時に資料をもらった	国・公共団体等講座で教えてもらった	その他
総数 (n=3641)	92.1%	6.3%	1.6%	61.2%	57.5%	49.5%	24.7%	21.3%	10.0%	9.5%	8.3%	3.2%	2.0%
小・保 (n=1077)	91.5%	7.1%	1.5%	<b>52.9%</b>	43.5%	<b>54.9%</b>	26.4%	25.1%	6.5%	10.1%	7.1%	2.5%	2.6%
中・保 (n=1412)	92.7%	5.7%	1.6%	<b>65.9%</b>	<b>63.3%</b>	46.8%	27.3%	20.2%	8.8%	9.8%	7.7%	3.3%	1.8%
高・保 (n=1128)	91.8%	6.6%	1.6%	<b>63.7%</b>	<b>63.5%</b>	47.5%	19.9%	19.1%	14.5%	8.2%	9.8%	3.7%	1.7%

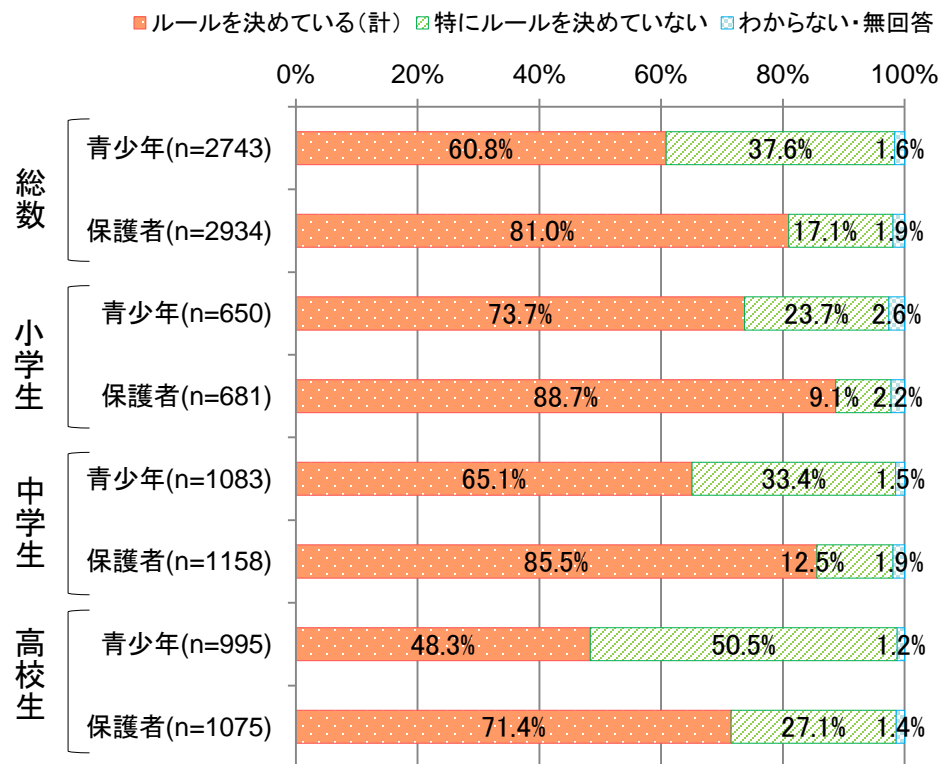
啓発や学習の経験の前年度との比較(平成26年度・平成27年度)



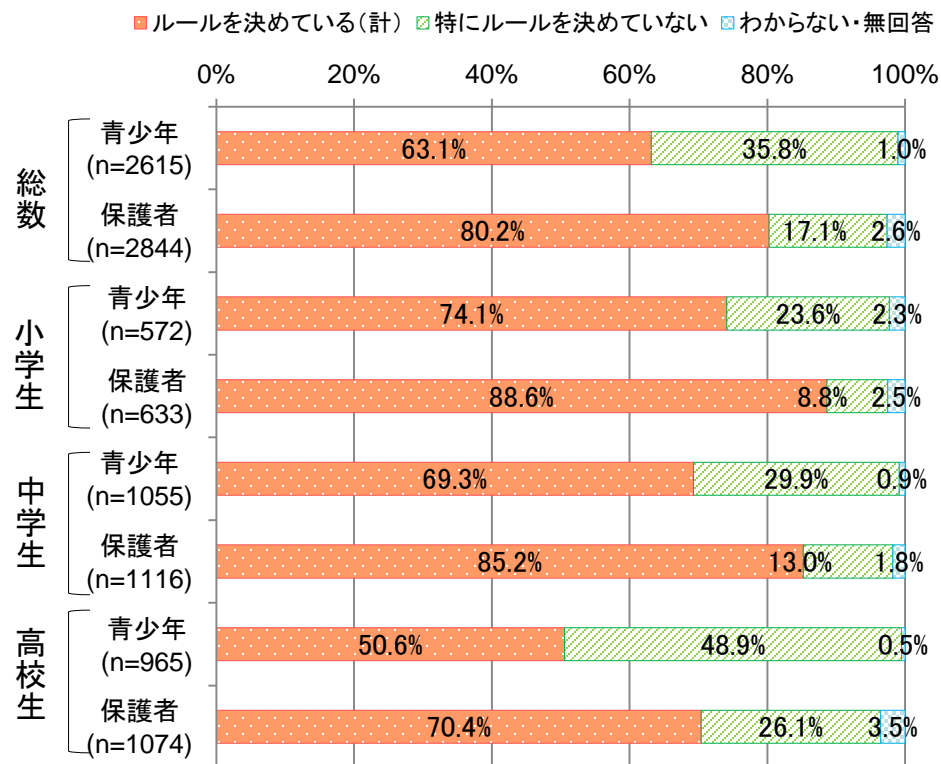
(注)回答した保護者全員をベースに集計。

○ インターネットの利用に関する家庭のルールについて、青少年の実態と保護者の認識とのギャップが前年度より拡大し、「ルールを決めている(計)」との回答で20ポイントの差。学校種が上がるほどギャップが大きい。

### 青少年の実態と保護者の認識とのギャップ(平成27年度)



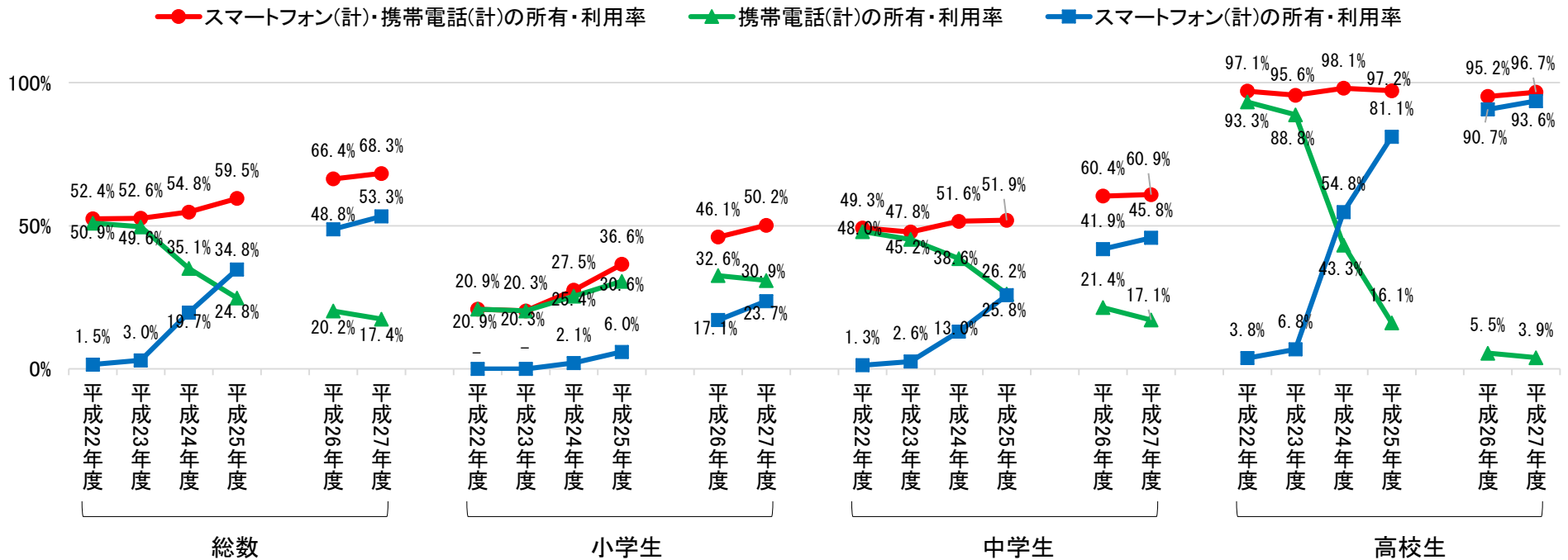
### 青少年の実態と保護者の認識とのギャップ(平成26年度)



(注) 「いずれかの機器(15機器)」でインターネットを利用していると回答した青少年及び、青少年が「いずれかの機器(15機器)」でインターネットを利用していると回答した保護者をベースに集計。

○ 携帯電話の利用が減り、スマートフォンの利用が進む。

青少年のスマートフォン・携帯電話の所有・利用状況(平成22年度～平成27年度)



(注1) 「青少年のスマートフォン・携帯電話の利用状況」の数値は、回答した青少年全員をベースに集計。回答数は以下のとおり。

平成27年度：総数(n=3442) 小学生(n=1060) 中学生(n=1349) 高校生(n=1018) 平成26年度：総数(n=3441) 小学生(n=1080) 中学生(n=1329) 高校生(n=1007)  
 平成25年度：総数(n=1817) 小学生(n=604) 中学生(n=699) 高校生(n=503) 平成24年度：総数(n=1867) 小学生(n=669) 中学生(n=721) 高校生(n=467)  
 平成23年度：総数(n=1969) 小学生(n=656) 中学生(n=734) 高校生(n=570) 平成22年度：総数(n=1314) 小学生(n=431) 中学生(n=540) 高校生(n=342)

(注2) 平成26年度・平成27年度では、「スマートフォン(計)」は、「スマートフォン」、「いわゆる格安スマートフォン」、「子供向けスマートフォン」、「携帯電話の契約が切れたスマートフォン」のいずれかを利用すると回答した青少年、「携帯電話(計)」は、「携帯電話」、「子供向け携帯電話」のいずれかを利用すると回答した青少年。平成25年度では、「スマートフォン(計)」は、「スマートフォン」、「子供向けスマートフォン」のいずれかを持っていると回答した青少年、「携帯電話(計)」は、「携帯電話」、「子供向け携帯電話」のいずれかを持っていると回答した青少年。平成24年度～平成22年度では、「スマートフォン(計)」は、「スマートフォン」を持っていると回答した青少年、「携帯電話(計)」は、「携帯電話」、「子供向け携帯電話」のいずれかを持っていると回答した青少年。

(注3) 平成22年度～平成25年度の調査では、「スマートフォン」及び「携帯電話」の「所有」について択一回答、平成26年度・平成27年度の調査では、「スマートフォン(4機種)」及び「携帯電話(2機種)」の「利用」について複数回答。平成26年度より調査方法等を変更したため、平成25年度以前の調査結果と直接比較できない。

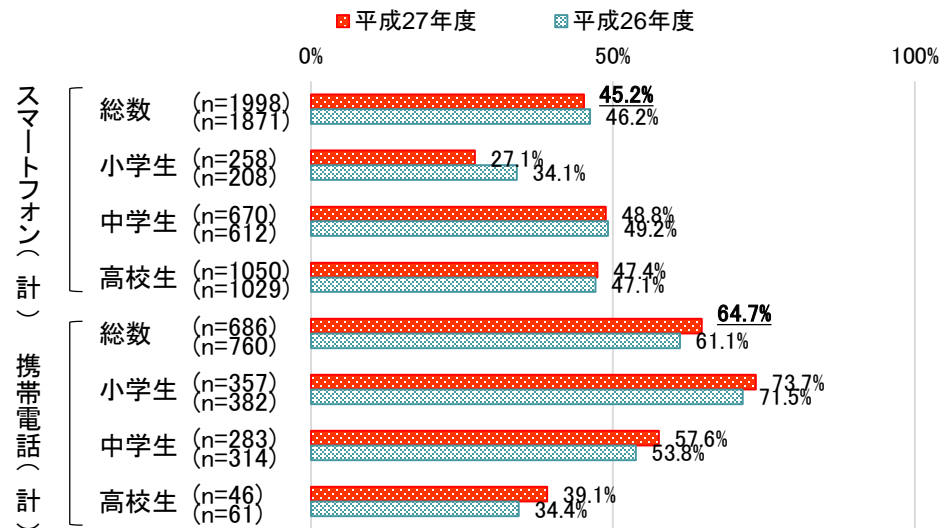
(注4) 平成26年度・平成27年度は複数回答のため、「スマートフォン(計)の所有・利用率」と「携帯電話(計)の所有・利用率」の合計値は、「スマートフォン(計)・携帯電話(計)の所有・利用率」と一致しない。

(青少年調査)

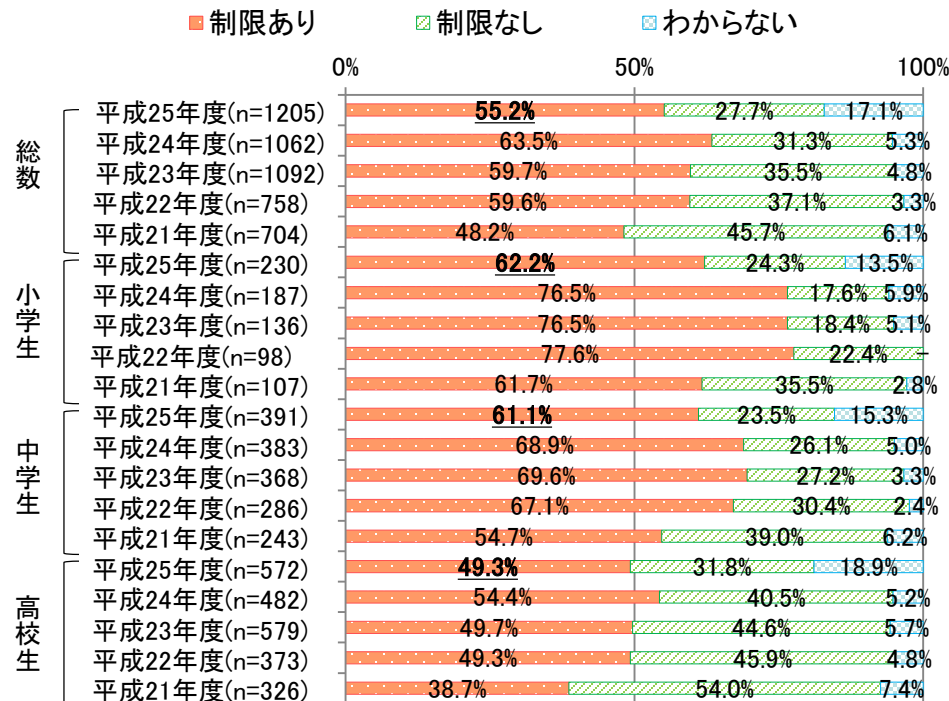
○ スマートフォン・携帯電話におけるフィルタリング等利用率は、前年度と比べほぼ横ばい。

フィルタリング等利用率(平成26年度・平成27年度)

(保護者調査)



フィルタリング等利用率(平成21年度～平成25年度)



(注1) 「フィルタリング等」とは、フィルタリングや機種・設定により閲覧を制限することをいう。

(注2) 「フィルタリング等利用率(平成26年度・平成27年度)」は、「スマートフォン(計)」については、青少年が「スマートフォン」、「いわゆる格安スマートフォン」、「子供向けスマートフォン」、「携帯電話の契約が切れたスマートフォン」のいずれかを利用すると回答した保護者、「携帯電話(計)」は、青少年が「携帯電話」、「子供向け携帯電話」のいずれかを利用すると回答した保護者それぞれをベースに集計。

(注3) 「フィルタリング等利用率(平成26年度・平成27年度)」は、青少年が利用する各機器において、保護者調査Q7において「機器を利用しているが、インターネットが使えない機種・設定のため、インターネットを使っていない」と回答、ないし、保護者調査Q8において「フィルタリングを使っている」又は「利用・機能制限機能等を使っている」と回答した率を算出。

(注4) 「フィルタリング等利用率(平成21年度～平成25年度)」は、青少年が携帯電話・スマートフォンを持っていると回答した保護者をベースに集計。

(注5) 「フィルタリング等利用率(平成25年度 機種別)」は、青少年が「携帯電話」を持っていると回答した保護者、青少年が「スマートフォン」を持っていると回答した保護者それぞれをベースに集計。

(注6) 平成26年度より調査方法等を変更したため、平成25年度以前の調査結果と直接比較できない。

フィルタリング等利用率(平成25年度 機種別)

